



第1号

令和3年4月30日

庄和すずらん幼稚園

新しく入園された皆さま、そして、進級された皆さま、おめでとうございます。この“保育だより”は、すずらん幼稚園の園運営や教育理念、教育内容、教育方法、そして具体的な実践を、皆さまに知っていただく一助として、思いつくままに発表させていただく欄を“保育随想”“幼稚園情報”として、園長が担当し、毎月一回を目安に配布させていただくものです。

保育随想

★ 気付き！

令和3年度の幼稚園生活が始まりました。在園していて進級した人、森のひろば保育園、緑の森保育園、その他の施設を卒園して来た人、そして、ご家庭で過ごして来て初めて幼稚園生活に入った人など、様々な経験と経緯の中で、子ども達の新しい生活がスタートいたしました。何と申しましても、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための措置として、国からも緊急事態宣言が発せられての生活は幼稚園内においても例外ではなく、四季折々の自然の変化に添っての活動も感染しないように、日々の生活も幼稚園内外の活動にも注意して行く一年に成ると思います。あるお医者さんが、このコロナ感染が収まるのは、2023年の末に成ることを予測されております。終息を待っての活動も思い描くところですが、成人の5倍も7倍もの速さで成長していると言われる幼児期の今を考えますと、私たちの役目を一層意識をもって環境づくりに努力して行くべきであろうと考えます。昨年度来の意識の中で、幼稚園に通う子ども達は感染している子はおりません。そして、その、お子さんと共に暮らし幼稚園に送り出すご家族も感染されていない方々であります。幼稚園内にはコロナは無いのであります。健康な子ども達と感染されていない保護者と先生で行う日々の活動や行事については、基本的な手洗いやうがいの励行を行い、この時期に必要なことを経験させて参りたいと思うのです。子ども達の生活をご覧に成って頂くとお分かりのように、いわゆる密の中で触れ合って育ちあう場面が、とても大事な生活様式であります。保育室内においても、歌で始まり歌で終わる幼稚園生活とまで言われるほど大きな声で皆で歌い、この時期の活動の、こいのぼり制作もお着替えも給食も触れ合いながらの毎日です。外の活動もボール遊びであったり、一緒に作り上げる砂場での遊び、そして冒険の森でのいろいろな遊びも自由に行えることがとても大事な生活に成ります。

4月からは幼稚園生活に慣れるという願いをもって子ども達にも関わり環境づくりをしているのですが、日々の一つ一つに子ども達は新しい発見をしています。生活の仕方にも自分と違う人との関りでも、そして何よりも遊びたい場所と遊びが見付かった時の喜びと発見は、次への生活に生かされているのです。そこには教えてもらうこともあるでしょうが、自分で発見し気付くことがあります。子ども達は一つ一つに自分流の発見や気付きを積み重ねているのです。教え込まれているのではないのです。沢山の気付きが生まれる環境を作る関りと役目を、この一年で実践して参りたいと思います。



第2号

令和3年5月31日

庄和すずらん幼稚園

創造する生活！

季節は巡り、早い訪れと言われる梅雨入りの気配を感じる中で、いちご狩り、年少組さんの親子遠足もさせて頂きました。園内でも朝顔の種を植え付けたり、夏野菜づくりの準備もしております。しゃぼん玉遊びのように夏の季節に向けて遊びも展開されております。此のところでは、父の日のプレゼント製作で、各学年でも工夫を凝らして思いを形にして持ち帰ることを楽しみに、担任や友達との会話の中にイメージを膨らませながら楽しい製作に成っております。我々も自然の中で生かされている一人ひとりですが、季節の移り変わりに合わせた生活や催しものや行事などで生きてる喜びを感じながら生きていることにも行きつきます。幼稚園生活におきましても、自然と関り自然の美しいことや、分からないことが多い中で不思議さを面白く自分の中に受け止めて、経験を積んで居る一日一日であります。そんな生活の中でも、人間は考える葦なんですよ！どうしたら面白くなるか、どうしたら思うような形に出来るか！それは、制作に留まらず毎日の遊びの中でも、工夫を凝らして遊びを広げ発展させていることにも驚きます。子ども達にとっての良い環境や遊び道具は、固定された物ではなく変化の出来る形の遊具が望ましいのです。次々に発展が生まれて、次々に興味や関心毎が移りますので、遊んでいる後ろは、やりっぱなしの散らかり放題になるのも必然なのでありまして、遊び込めている喜ばしい証拠として、その場は見守り隊に成れると、ますます遊び込めるのであります。整然と片付けられた所に遊びの喜びのひとつかけらも生れていないかと思われまます。片づけは、楽しかったねと一緒に片付けも遊びながらやれると大満足！遊びは心の流れの表われですから、途中で寸断されることは、どなたもお好きではないはず！生活を創り出すことは、心掛けて育つものかも知れませんが、子ども達には柔軟な意欲がありますので環境さえ整えてもらえれば、どんどん育つことに間違いはありません。私たちが子ども達から学べる一つです。何気ないところから創意工夫をして、環境を変えて休んでみたりしながら改めて挑戦してみると、案外良いものが生まれたりする時があります。幾らかでも楽しく快適に過ごしたいと言う思いを尽くして生きているわけですが、我々大人には、ブレイクタイムという方法も会得しています。

貞心尼は、鞠付き遊びとは不思議なものです。地面にぶつかると跳ね返り手に戻って来る。この繰り返し、つき終わることがありません。良寛さんは、鞠と言うものはね、強くつけば強く跳ね返る。弱くつけば弱く跳ね返る。まっすぐつけば、まっすぐに。斜めにつけば、斜めに。鞠つき遊びの鞠にウソはない。いつも正直。あなたがつく鞠は、あなたの心そのもの。人と競い合っははいけません。鞠つきの極意はただ一つ、無心。1, 2, 3, とついて10で終わったら、また1に戻ればいいのです。初心に、原点に戻ってまた始めるのです。こんな文章を、只今、友人が送ってきました。

少々、話がずれましたが、観点を変えて見直しながら創意工夫を生活の中で心掛けて行きますと、前向きになれるですよ。明日から衣替えです。子ども達に学ぶ力を貰いながら今の生活の中から喜びを見つけて子ども達に周囲にご恩返しを致しましょ。



第3号

令和3年6月30日

庄和すずらん幼稚園

ていねいに暮らす！

お陰様で友人に恵まれて暮らして行けることを、事あるごとに思うのであります。朝、目が覚めて起き上がる少しの時間に、つま先から足首、ひざや股関節の開脚や曲げ伸ばしを、腰の回転や膝を抱えてのローリング、起き上がってから背中伸ばしやふくらはぎの伸ばしをして、今日の体調を感じ取ります。近頃、気が付いたことですが、柔軟体操やストレッチは痛いので数回で止めておりましたが、痛くない程度の強さで、30回、50回繰り返しますと、何と柔らかくなるんです。伸びるんです。今までは痛いので数回やって収めていたのですが、無理ない強さで回数を重ねていると伸びることを自分の体で実感し始めました。痛いので生活の中でも痛くないように動かして来た結果は、当然、肩も股関節も、そして体中の使わない筋肉群も収縮する性格をもって出来ておりますので、可動範囲も狭くなります。筋肉も固まります。本来、自由に動かして生活できたことが、筋肉に負担が掛り痛める事に成ります。これが怪我の始まりです。多くの方が、機能回復のためのリハビリテーションを行っておりますが、一口でリハビリと言いますが、これは想像を超える痛さとの戦い、針で刺される痛さへの繰り返しの挑戦ですから、普段の生活が出来るまでの機能回復期間も、相当な時間も要することは容易に思えるところです。健康な生活を支えて来てくれた体が悲鳴を上げていることにも、中々気付きにくいものですが、鍛えることと併せて同じくらいの手当てもして行きたいものです。普通の事が普通にできる生活を続けていく大事な抑え処ですね。

一方、体調が良ければ心は前向きに生きるように出来ているようです。元気が有れば何でも出来る！と、かつて、アントニオ猪木さんが叫んでおりましたが、そこまで行かなくとも、普段の生活が快適に送れることで十分に幸せは感じられるものです。日々の生活の中には、ていねいに向き合うと、新しいことが見付かるものです。多くは人間関係で喜びも気遣いの必要を求められて生活しておりますが、ていねいに話を聞き、ていねいに伝えたら、そんなに大きな隔たりはなかった！共に歩める嬉しさに変わります。構えず、決めつけずに誠意をもって向き合うところに道は必ず開けて行くものです。今の自身のままで向き合うしか方法は無いのです。おごらず、威張らずに、そして素直に生きていく心掛けが一番楽なのです。願いは持ちましょう！願いは伝えましょう！それも、聞いてくれる人の気持ちに寄り添って話しましょう！ある人が、すべての事に時間が必要なんですよ！教えてくれました。あせらず諦めずに、そして、前向きにていねいに！です。この、ていねいに暮らすことは、対人関係にだけではなく、我が家にも幾らかの草花が彩を添えて、季節の変化の中で精一杯の姿で、それぞれの美しさを表してくれております。朝出かけるときに、気持ちを投げかけて車に乗るのです。家族の手によって植えられているのではありますが、ていねいに眺めますと力強く咲いていることに感動します。生活の一つひとつをていねいに関わることから、毎日が気付きと喜びの連続になります。子ども達の毎日の喜びはここにあるように思います。



●思うように生きる！

人生を振り返ってどんな感想を持っていますかと、90歳を超えた人との話ですが、聞いてみましたら、「らちが明かなかった」と答えました。「こっちの草を取ったら、あっちの草が伸びて来て、その繰り返しの毎日だったけど、田ん中に居るときは、気持ちが清々としたなあ」とも言いました。戦後、間もない時代には、農家に嫁げば食べ物には不自由しないと云う親の思いで、農家に嫁に来たのだそうです。商家の娘でしたから農家の仕事は勿論初めて、毎日へとへとに成って夕飯も作り休むだけの毎日だったことは想像できました。一人の人生の一端ですが、どなたにもある一人一人の歩みは、本当に重いものです。

近頃は、健康維持のためにウォーキングの時間を探しては幼稚園から、川辺小学校コース、水角コース、赤崎コース、また、保育園から総合公園周回コース、富多江戸川小中学校コースと名前を決めて歩くようにしておりますが、慣れてきますと、あいさつは勿論ですが、昔の地域の話や私の父や母の話もしてくれる方もおります。ご自身の若い頃に楽しんだ、お針の仕事、家族の話、幼稚園の卒園生のその後の話など、足を止めちゃって悪いね〜！と言いながら、いろいろなことを聞かせて貰えるように成りました。「みんな施設や病院に入っちゃてさ、わたしや幼稚園で子どもと一緒に遊びたいよ」という話が出まして、何とかそんな機会を幼稚園で作りたいと思いながら現場の先生に相談をしました。今までも祖父母参観として行ってきましたが、形に成らないかも知れないけれど、**遊びに来て〜！**の気持ちを伝えて、形に囚われないで一緒に過ごせる時間を作りましょう！と思い立っております。日にちは、9月13日(月)の午前中にしましょう！と言うところまでで内容は未定です。皆様にご提案を頂きたいと思えます。まだまだ世間では71歳の若者ですが、どなたもが自分の思うように生きている、生活していると思えるのです。どなたもが、これさえなければ自由で幸せなんだがな〜！と何かを抱きながら乗り越えようと努力をしていること、見方を変えますと、そんな風にも感じます。しかし、人は時間をかけて居心地の良い休み場所を作り、居心地の良い楽しみを見付けて暮らせるように作られて居ることを、周囲の方々を見て感じませんか。生れてから両親や家族、そして関わってくれた沢山の人の影響の中で、人間社会で生きてゆく力を獲得してきました。その中の多くが、社会の規範、周囲との距離感、心情を受け止める気持ちなどの影響を受けての成長の歩みは、どなたも同じかと思いません。そして、その経験の中で心地よかったこと、自分が生かされたこと、出来なかったことが出来るようになったこと、知らなかったことが分かったこと、そして、素敵な人に会えたこと等など、その時代に心に響いたことの積み上げが、今の自分の夢であったり目指す事に成っているんだと思っています。幼児期においても、周囲が思うように関わってくれたら、すべての子が意欲のある人に育ちます。と著名な心理学者が述べております。矛盾との戦いの時代を生きる幼児期ですが、沢山の事を学び自立に向けて歩む人生は、きっと、きっと思うような人生を歩んでくれるはずです。誰にも真似の出来ない人生を歩んでくれる事でしょう。だって、私達も、その様に生きているのですから。



●自己評価を高める！

日本の教育の骨格を成しているひとつに、周囲への考え方が私達にも身につけているところでもあります。謙遜、丁寧、謙譲、そして親切などの精神が私達の生活をなめらかに快適に、そして争いがない生活へ導いてくれております。しかし、自己を確立するその道のりは、様々な失敗と喜びを重ね、そして多くの人と出会いながら育っているのだと思います。

私達が願っております人間像の底に流れる思いは、一人ひとりが自分の手で人生を創り出すところに行き着くのです。自分を好きになり、他人と同じように自分も素晴らしい人生を創造するに値する人間だと思える人作りと言えます。生まれ落ちてから周囲と比較される環境下で、育ちにくいところは否めませんが、人間関係の中で、他人と比較しないで自分の価値は自分の個性にあるのだから、自分と他人と比べても意味がなく、一緒にして比べられないのです。どうしても周囲の人の生き方や成果に気を取られがちですが、比較にならないのですから、自分に目を向けて、自分を受け入れ、自分を許す辺りから見直して見ようかと思うのです。自尊心を高める為に。

自分を許す！ 自分の長所にだけ意識をはかる！ 自分をけなさない！ たくさん失敗して、沢山学ぶ！ 自分の気分責任を持つようにする！ あるがままに自分を受け入れる！ 不平、不満を口にしない！ 自分でやらないこと、出来ないことを批判や意見を言わない！ 他人を批判しない！ 自分を苦しめない！ 自分で出来ることは自分です！ 自分の健康には自分で責任を持つ！ どんな出来事も、いい方に解釈する！ 自分の思い通りに生きる！ 今、幸せだと思える！ 感謝の言葉やほめ言葉を、直ぐに口に作る！ 前向きに考える！ 人との出会いを楽しむ！ いい人間関係を楽しむ！ 心の中に静かな場所を見付ける！ 自分を悪い人間だと思わない！ 相手を大切にする！ 被害者意識を持たない！

たくさん列記しましたが、それが、日々の自己評価を高める生活であり、自尊心を高める生活なのであります。日々の何気ない生活の中に喜びを見付けられることであり、自分の人格や能力に幸せを感じる生活につながるのだと思うのです。

目新しいことではなく、皆さんが心がけて居ることなのですが、小さな心がけで家族も周囲も明るく成れるのではないのでしょうか。

ある70歳代半ばを超えた友人が、四国八十八箇所の遍路を50日余りを掛けてお参り巡礼をしている方がおります。来月には近畿地方2府5県の西国33所のお遍路にも行かれるとのことでした。特別なことですが、その遍路に向かう心情に、とても興味が沸いております。また帰って来られてから幾らかでもお話をお聞きしたいと思っております。比較に成らない事ですが、私は、この娑婆で自分創りも、子ども達一人ひとりの成長を支援する仕事を通して目指したいと思っております。